

労働者協同組合法周知フォーラム ～九州・沖縄ブロック～  
2023年2月18日13：30～16：00  
福岡県中小企業振興センター 大ホール

# 市民社会組織としての 労働者協同組合

坂本治也

関西大学法学部教授

sakamotoharuya@gmail.com

\* 本報告は、関西大学経済・政治研究所および関西大学若手研究者育成経費の研究費支援、およびJSPS 科研費18H00602, 20H01588の支援を受けて行った研究から成っています

貧困、環境破壊、教育、介護、  
防災、差別、社会的孤立、文  
化・スポーツ振興、地域活性  
化…

頼りになるのは、

国・自治体？

企業？

家族？

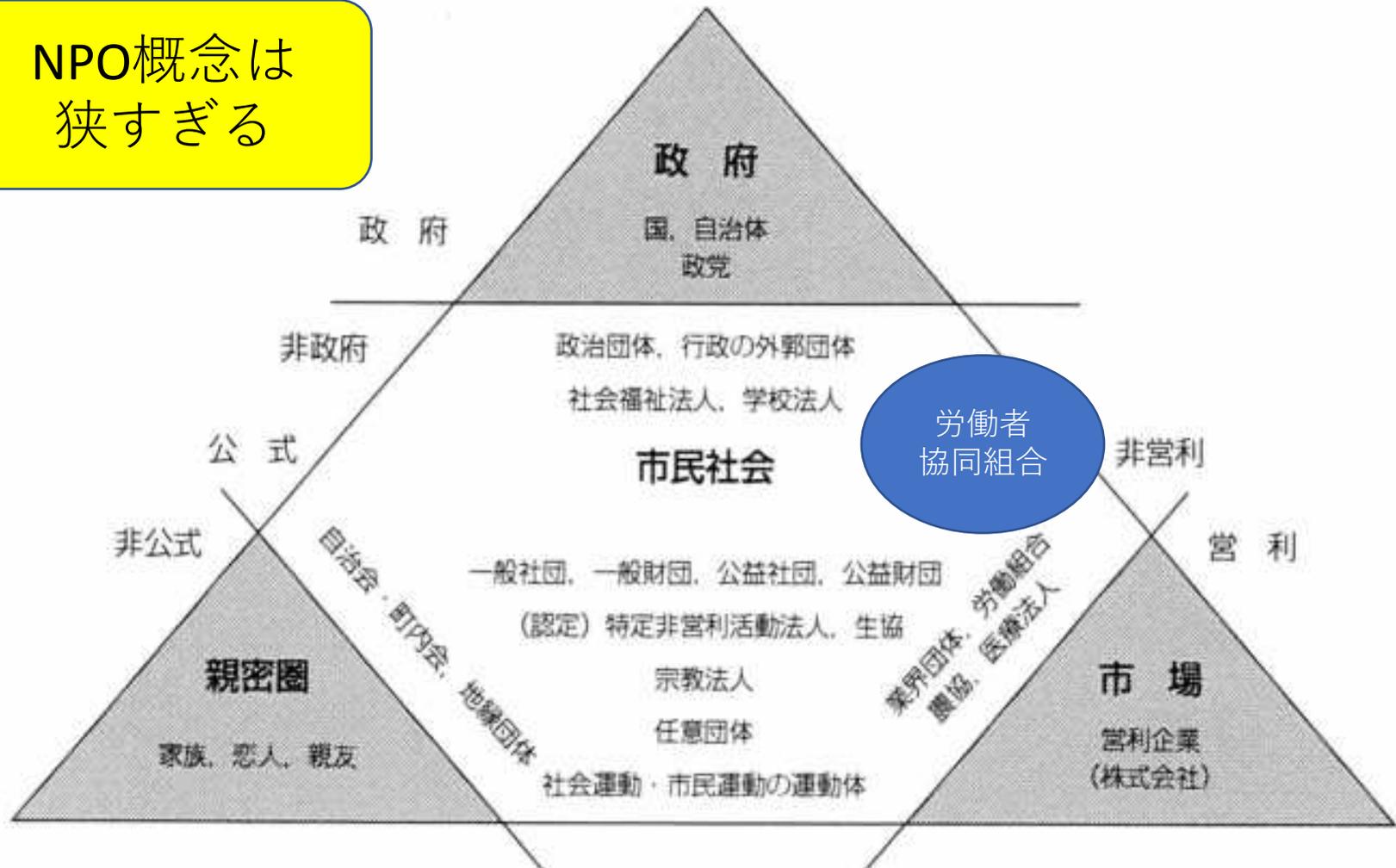
それとも・・・？

# 市民社会とは何か

図1-1 政府，市場，親密圏と市民社会

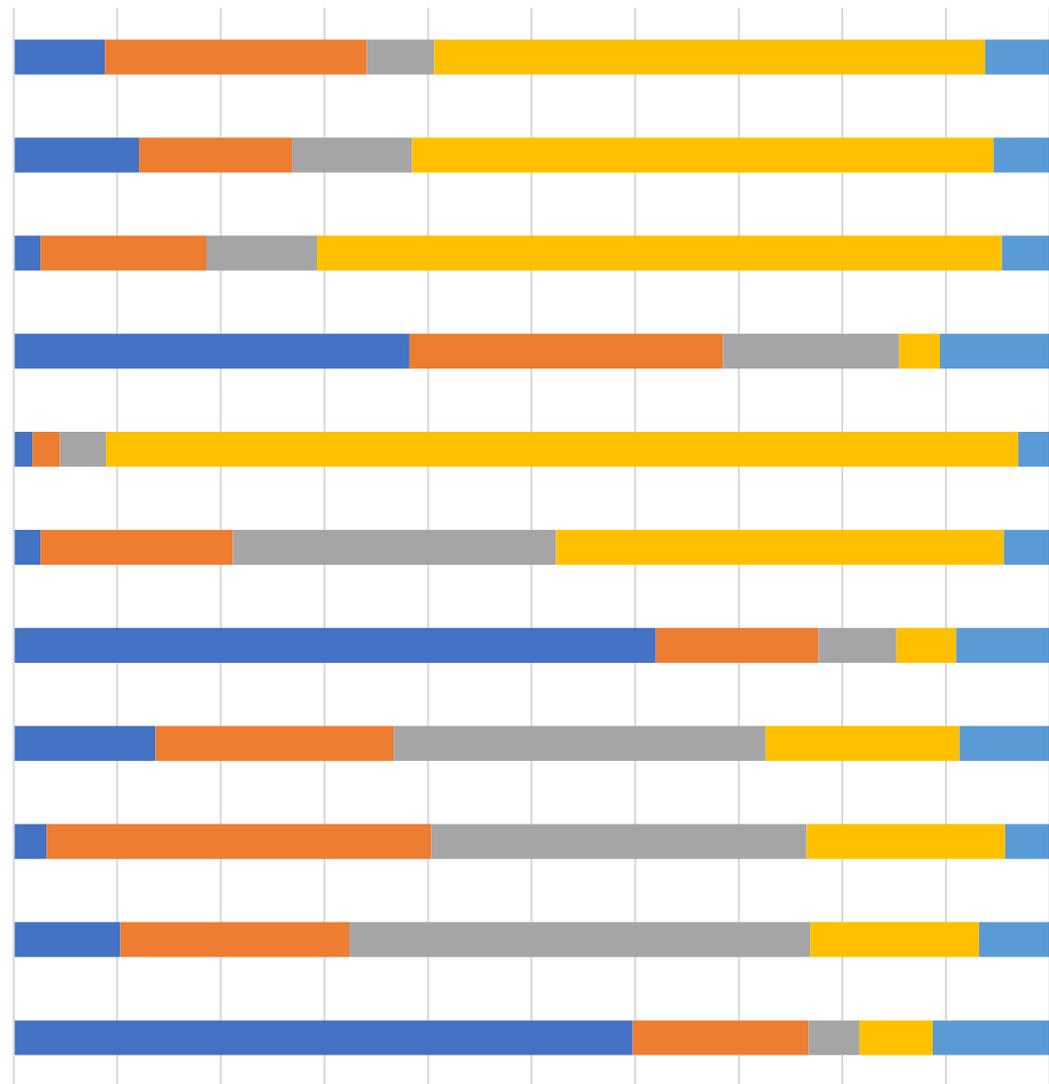
坂本編(2017)

NPO概念は  
狭すぎる



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

1. 大学に進学する際にお金が足りない
2. 失業してしまい、生活苦に陥った
3. 病気によって重い障害を背負った
4. 結婚する相手が見つからない
5. 大規模災害で被災し、自宅を失った
6. 両親の介護で疲弊している
7. ギャンブルのやりすぎで破産した
8. 薬物依存になってしまった
9. 子育てで悩みを抱えている
10. 社会的に孤立している
11. 投資で失敗し多額の借金を背負った



■ 自分ひとりでなんとかすべき ■ 家族や友人が支援すべき ■ 地域社会やNPOが支援すべき  
■ 国や自治体が支援すべき ■ わからない/答えたくない

# 市民社会の3つの機能

1 アドボカシー機能

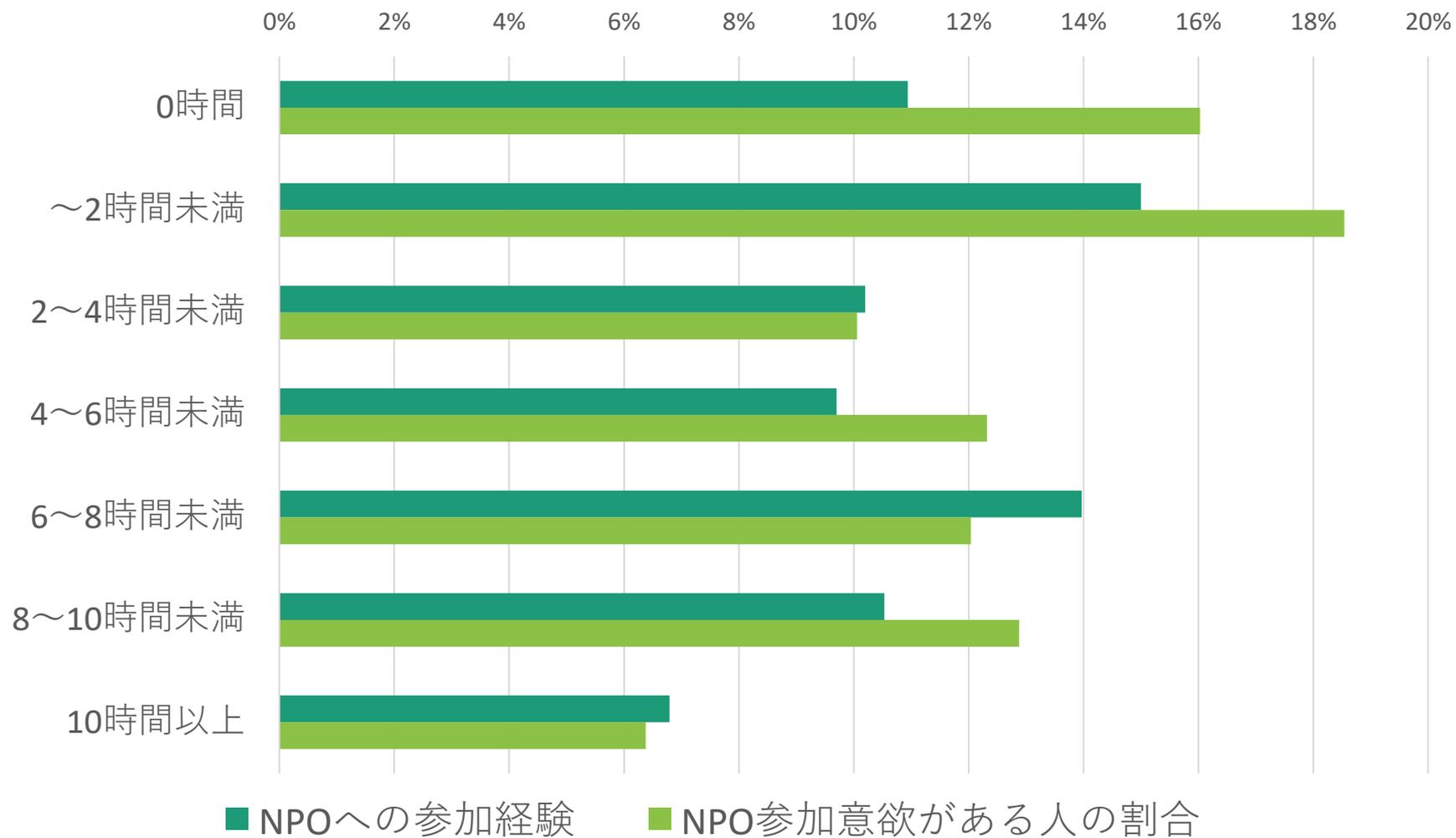
2 サービス供給機能

3 市民育成機能

仕事で手一杯  
市民社会に関わる  
時間やお金などない！

上流階級の道楽？

# 一日の中で趣味娯楽や社会参加などに自由に使える時間とNPO参加経験・参加意欲の関係



出所：関西大学経済・政治研究所自助・共助研究班「日本の市民社会に関する意識調査」2020年3月

# 市民社会組織としての 労働者協同組合の特徴

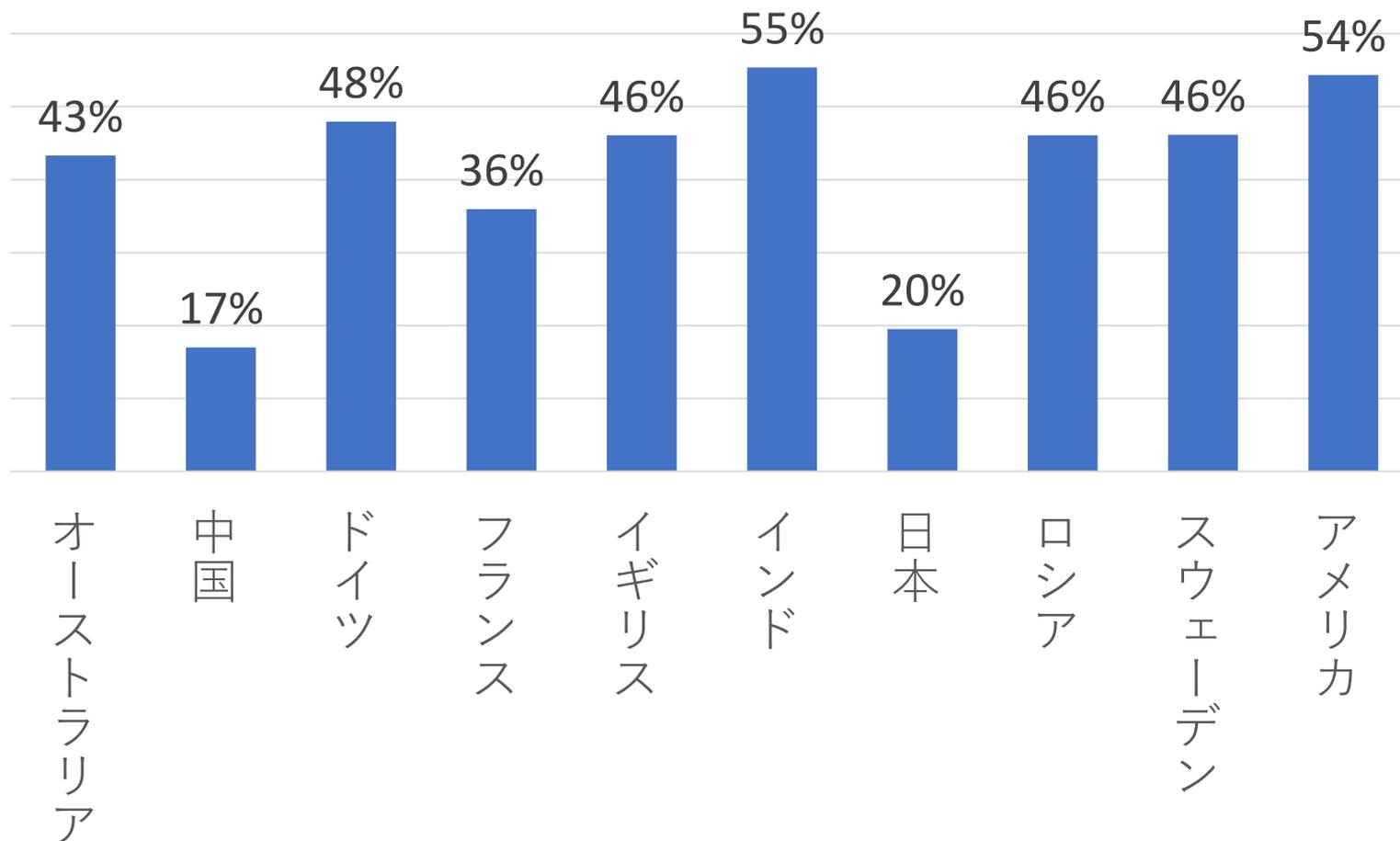
**協同労働** = すべての組合員が対等な立場で、出資、経営、労働を担い、地域に役立つ仕事に取り組む

⇒働きながら、地域に貢献する活動を行い、同時に関係する者全員が市民としてempowermentされる場  
⇔スター社会起業家率いるNPO

日本人は  
労働から疎外  
されている？

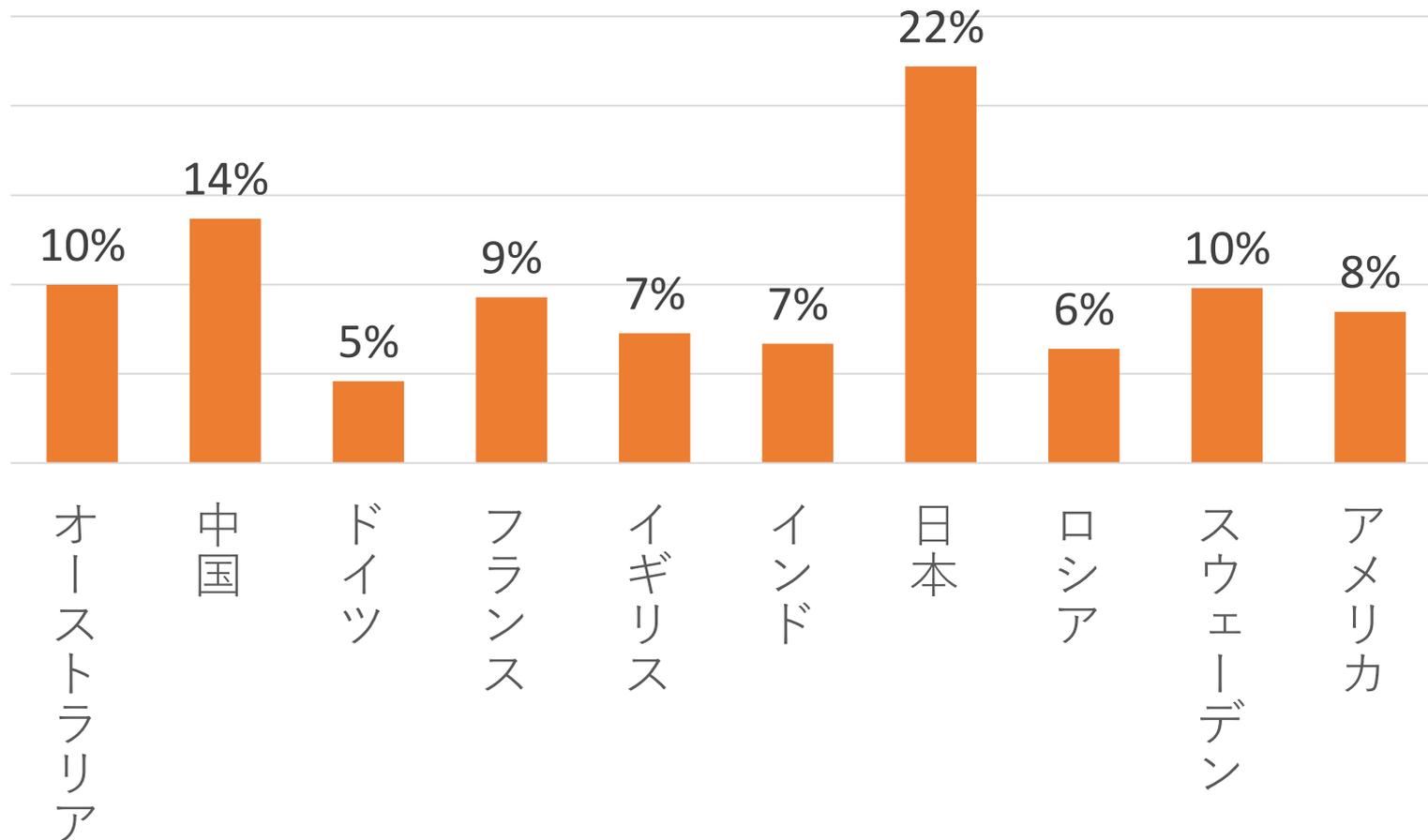
# 仕事満足度の国際比較 (ISSP2015 Work Orientations)

## 仕事への高い満足度を示す者の割合



# 仕事不満度の国際比較 (ISSP2015 Work Orientations)

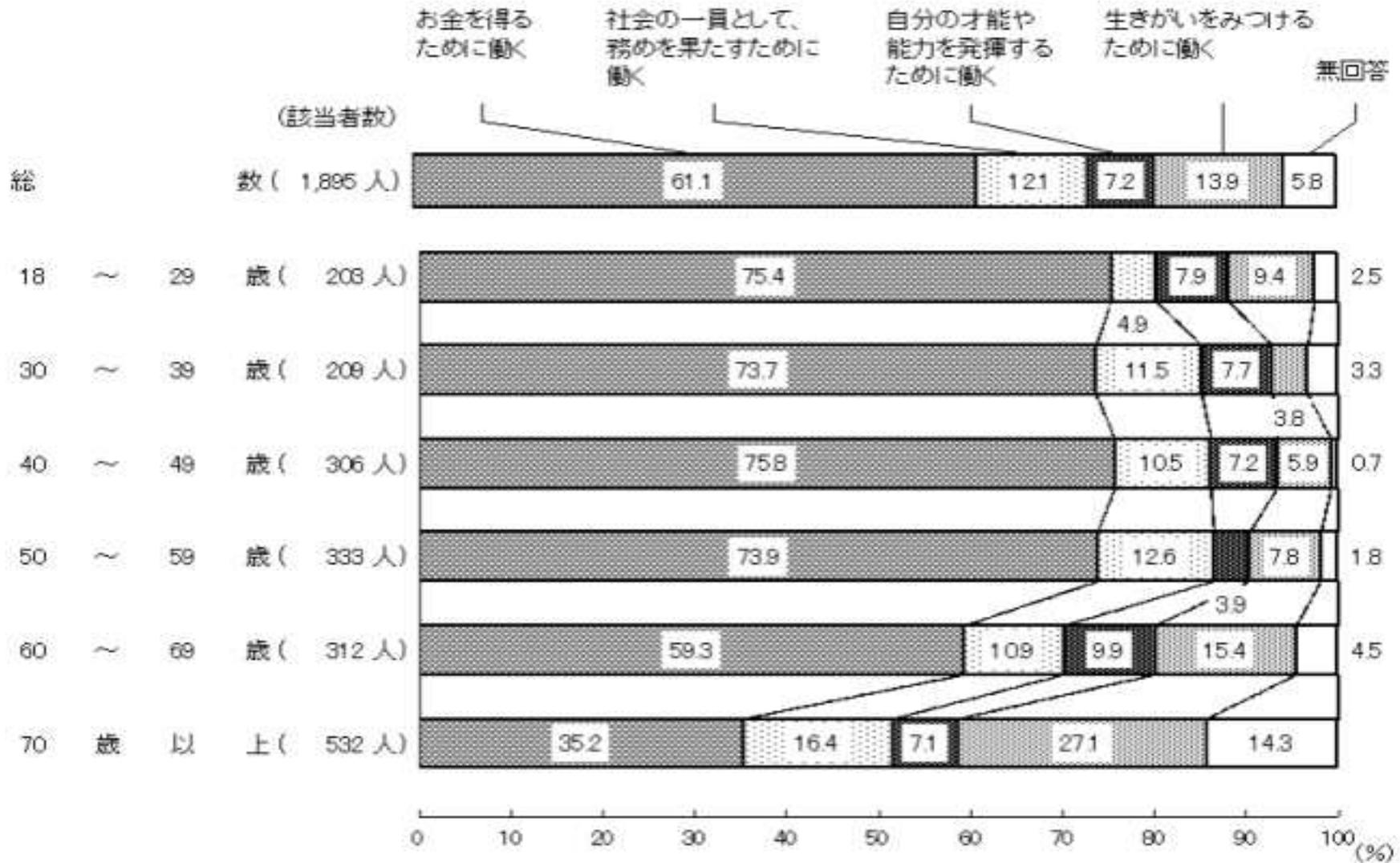
仕事への不満を示す者の割合



# あなたが働く目的とは何か

出所：内閣府「令和3年度国民生活に関する世論調査」

<https://survey.gov-online.go.jp/r03/r03-life/zh/z24.html>



日常の中心であり、多くの  
時間を過ごす  
労働の場こそ重要？

# 政治理論としての 職場デモクラシー論

出所：遠藤知子・大阪大学准教授（2022）

「職場デモクラシー論の検討と今後の課題－民主的实践としての労働者協同組合に着目して－」

経済活動の民主的統治、労働者による企業  
統治への参加 J.S.Mill, Rawls, Dahl, Pateman

職場での意思決定への参加

⇒ **民主主義を支える市民的資質の涵養**

他者との協働、正義感覚、公的熟議能力、  
政治関心、相互信頼・・・

実際、労働者協同組合で  
働くと、市民的資質が  
涵養されるのか？

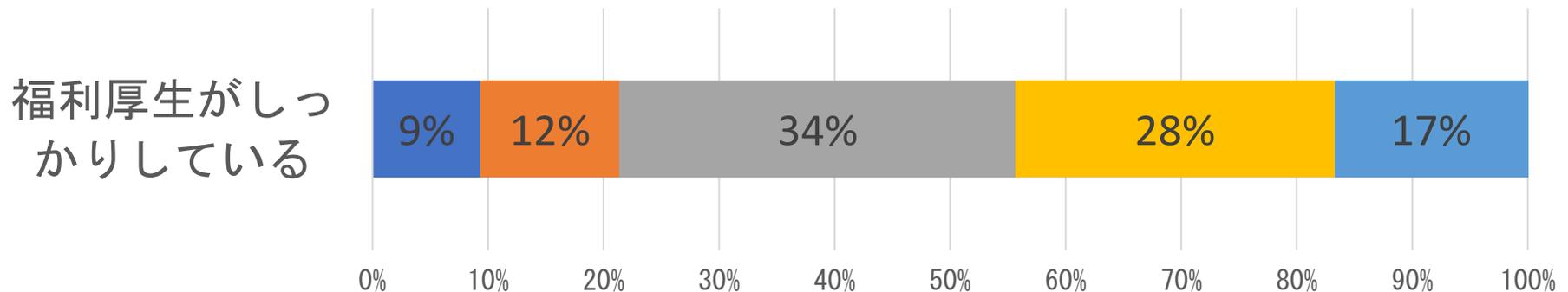
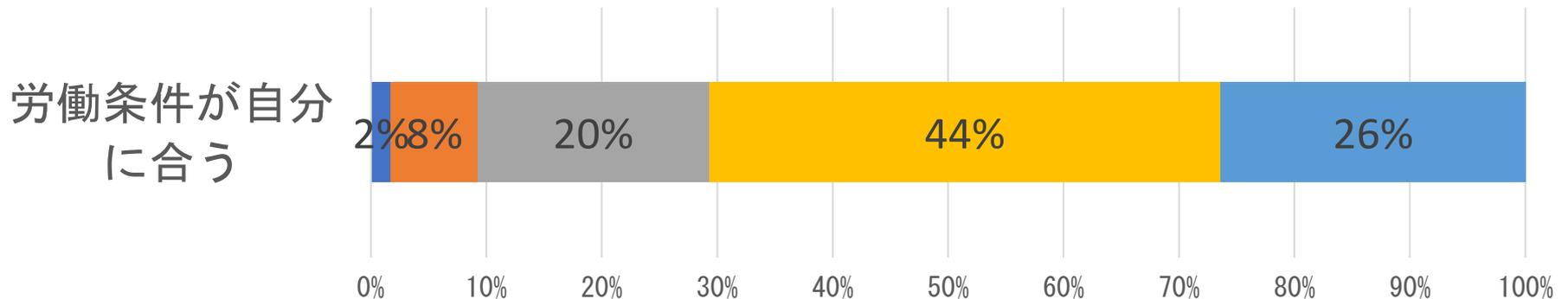
# 調査概要

- 調査名：協同労働と社会意識に関するアンケート
- 実施主体：日本労働者協同組合連合会センター事業団九州事業本部・沖縄開発室
- 調査期間：2022年7月1日～15日（ただし、回答自体は20日到着分まで受け付けた）
- 調査項目：回答者属性、現在の勤務状況、働く中で感じる職場の良さや課題、働く中で成長できたこと、生活満足度、自己責任意識などの社会意識、社会参加状況など、全63問

# 調査概要

- 調査方式：google formまたは紙による無記名回答
- 調査対象：九州エリアのワーカーズコープで働く労働者1,184名（全数調査）
- 回収できた有効回答数：523件
- 有効回収率：44.2%

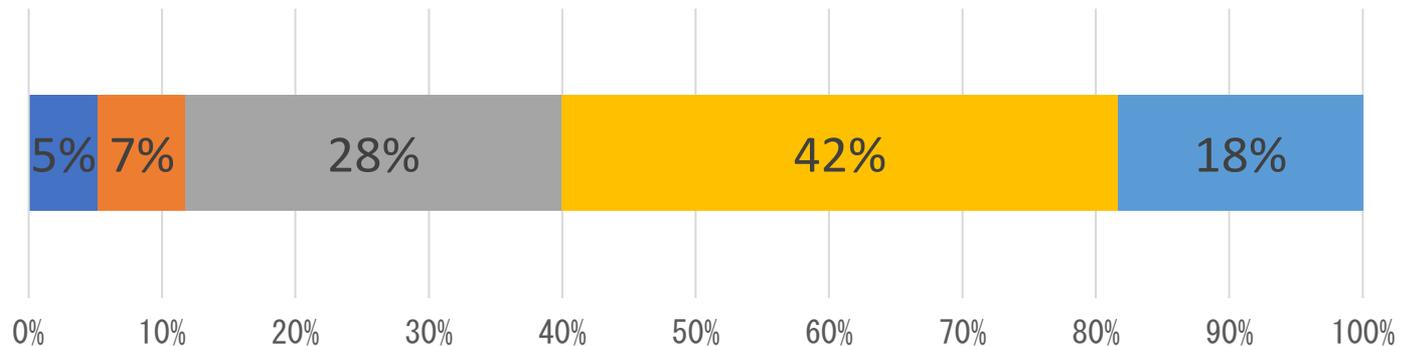
# 働く中で感じる職場の良さ



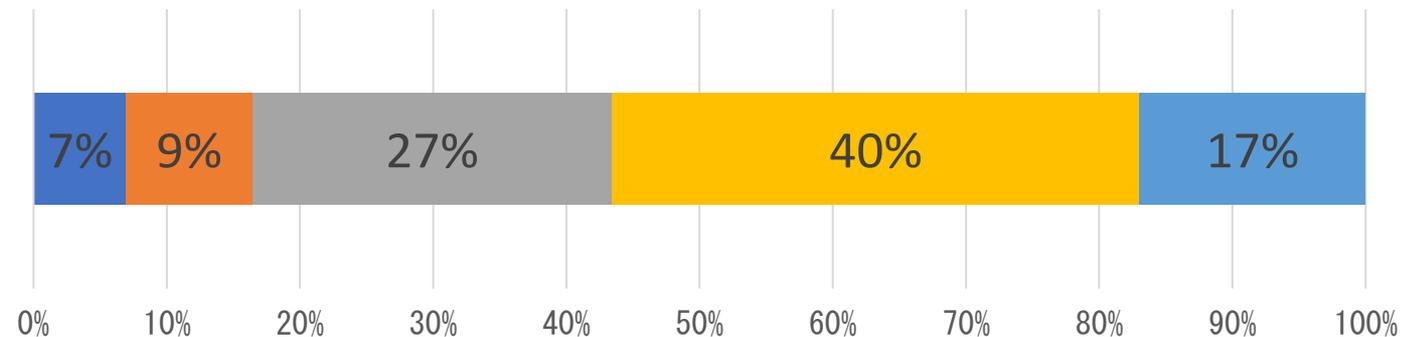
- そう思わない
- どちらともいえない
- そう思う
- どちらかといえばそう思わない
- どちらかといえばそう思う

# 働く中で感じる職場の良さ

自分の意見が言える雰囲気がある



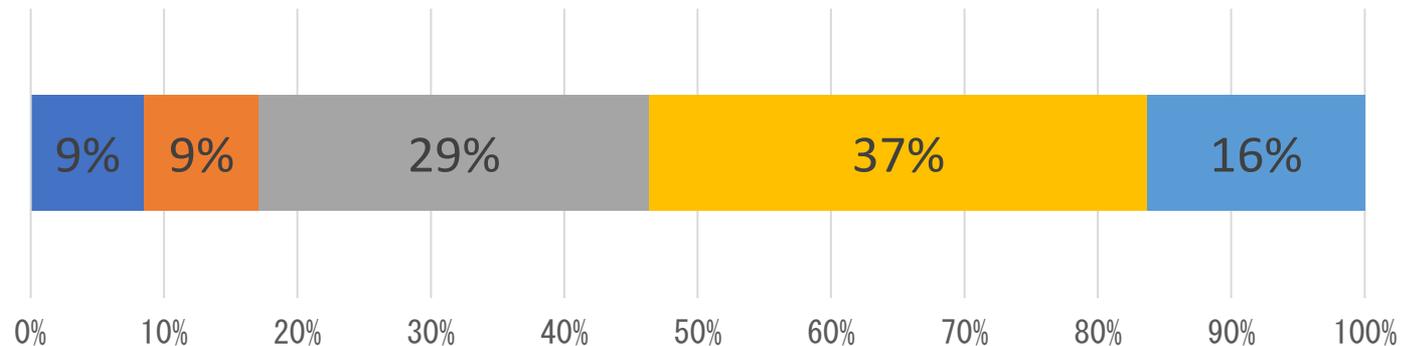
一人ひとりを大事にする職場環境である



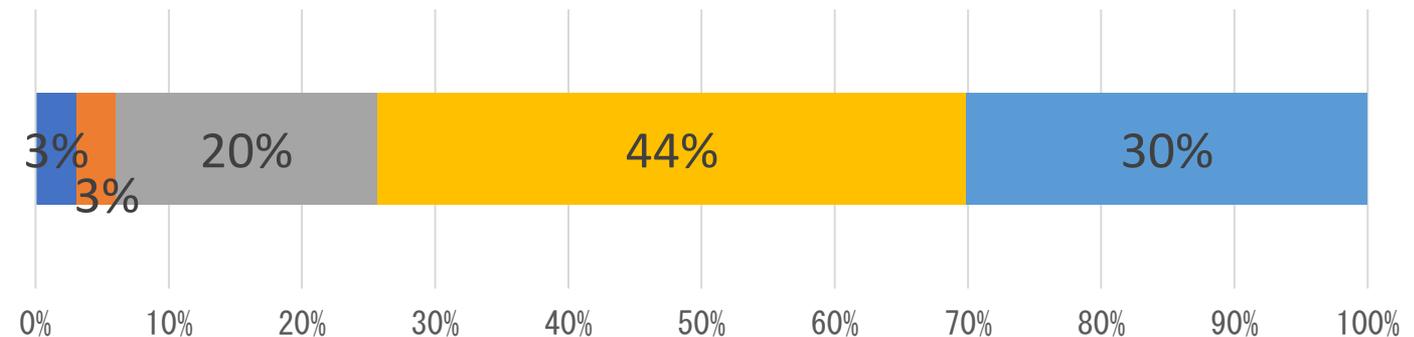
- そう思わない
- どちらかといえばそう思わない
- そう思う
- どちらかといえばそう思う

# 働く中で感じる職場の良さ

事業活動を自分  
たちで話し合っ  
て決められる



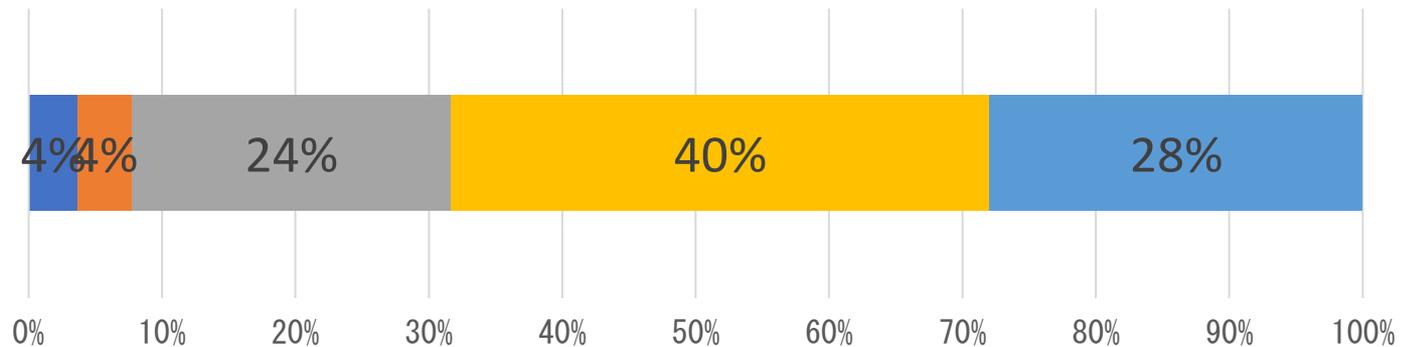
多様な背景をも  
つ人が働くこと  
ができる



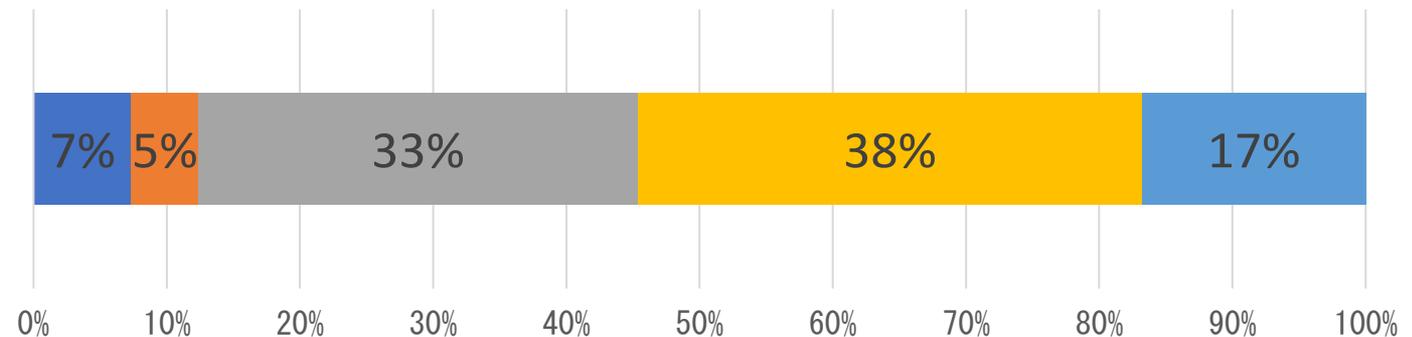
- そう思わない
- どちらともいえない
- そう思う
- どちらかといえばそう思わない
- どちらかといえばそう思う

# 働く中で感じる職場の良さ

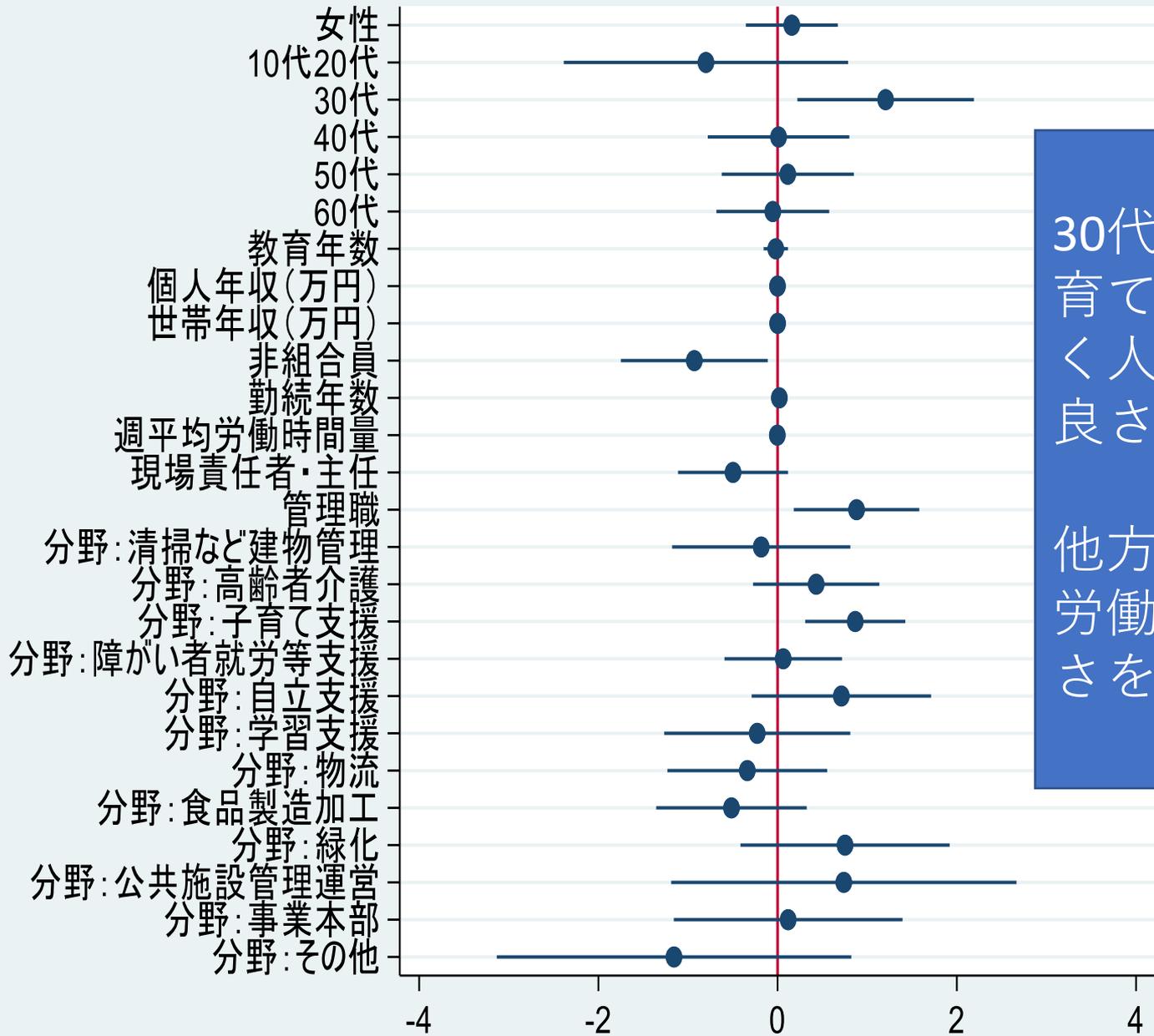
仕事を通して地域社会に貢献できる



協同労働を通して自分自身が成長できる



- そう思わない
- どちらともいえない
- そう思う
- どちらかといえばそう思わない
- どちらかといえばそう思う

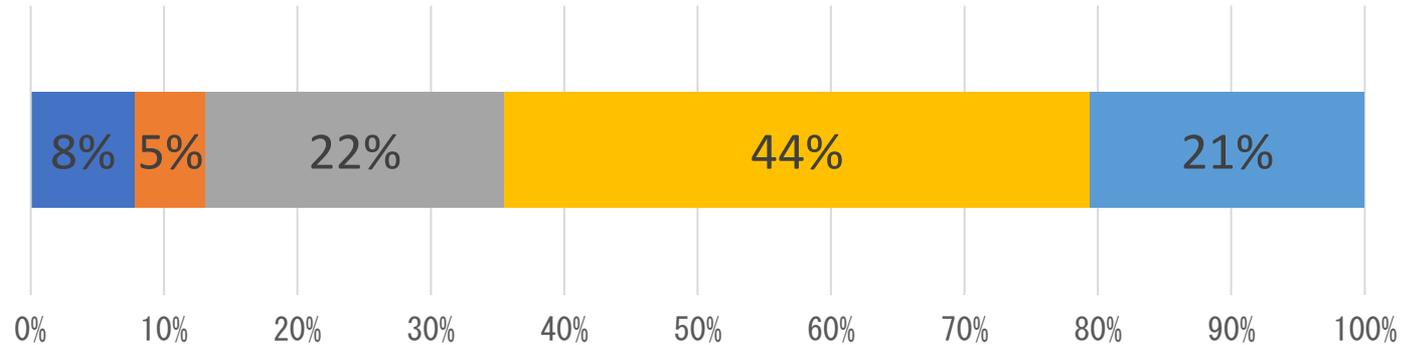


30代、管理職、子育て支援分野で働く人ほど、職場の良さを感じやすい

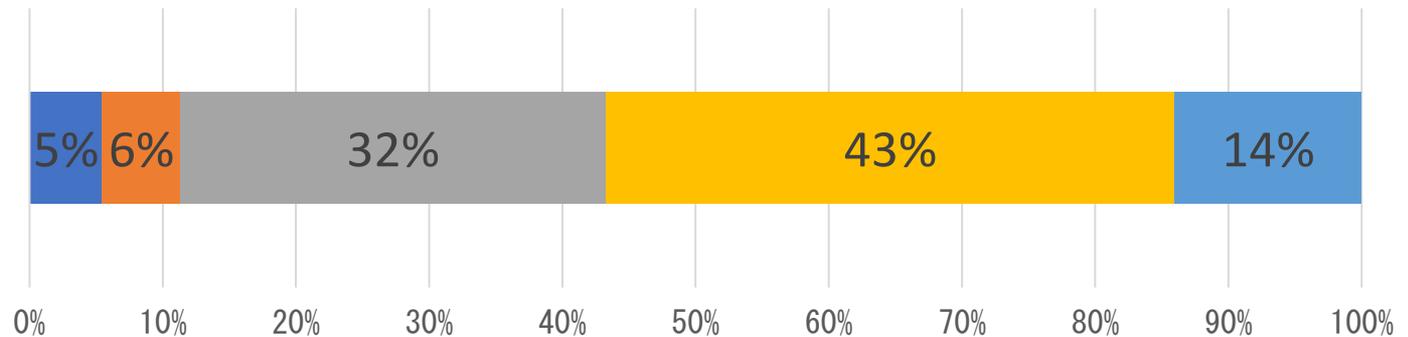
他方、非組合員の労働者は職場の良さを感じにくい

# 働く中で成長できたと感じること

仕事上の知識や  
スキル・資格を  
得ることができ  
た



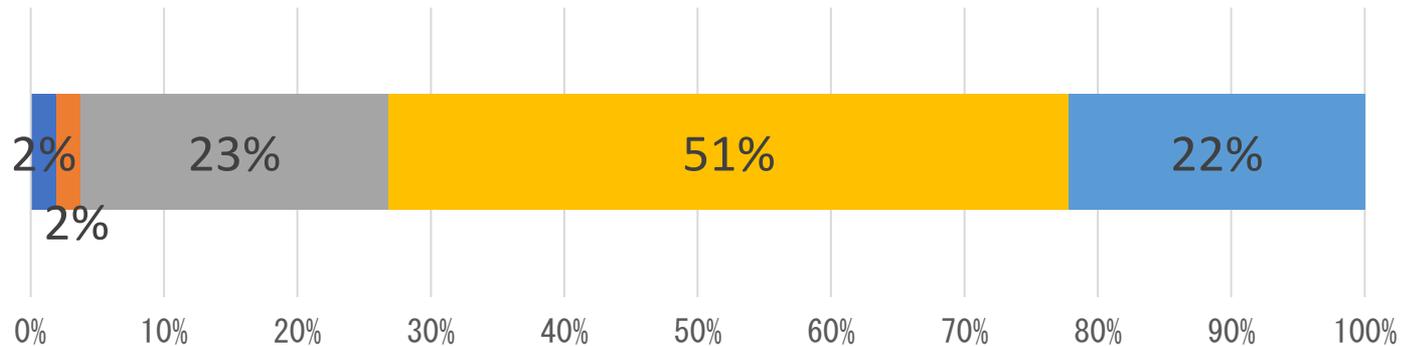
自分の意見が言  
えるようになった



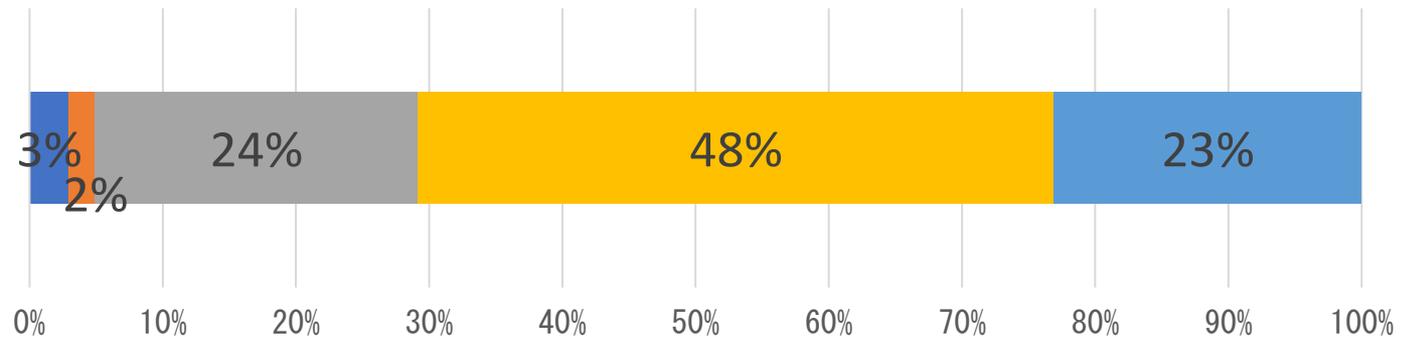
- そう思わない
- どちらかといえばそう思わない
- どちらともいえない
- そう思う
- どちらかといえばそう思う

# 働く中で成長できたと感じること

人の話をより聞けるようになった



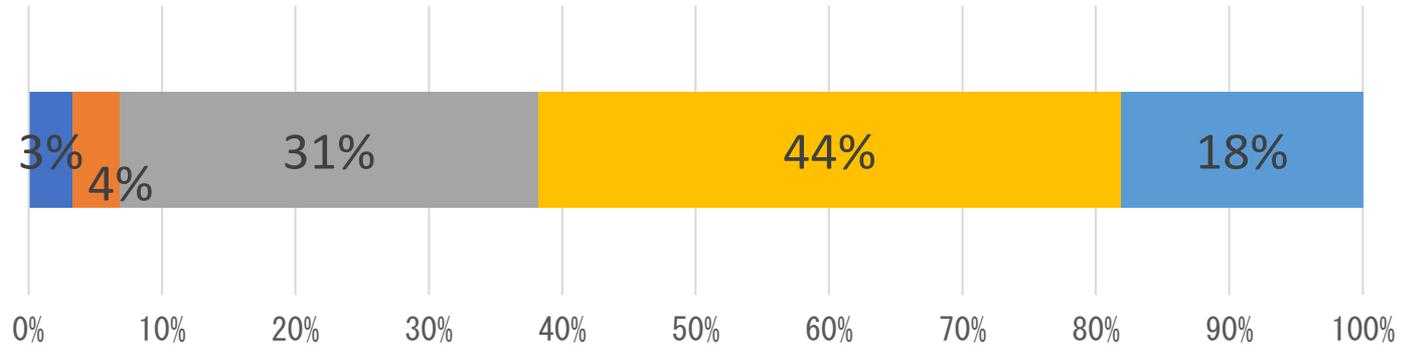
多様な背景をもつ人たちへの理解が深まった



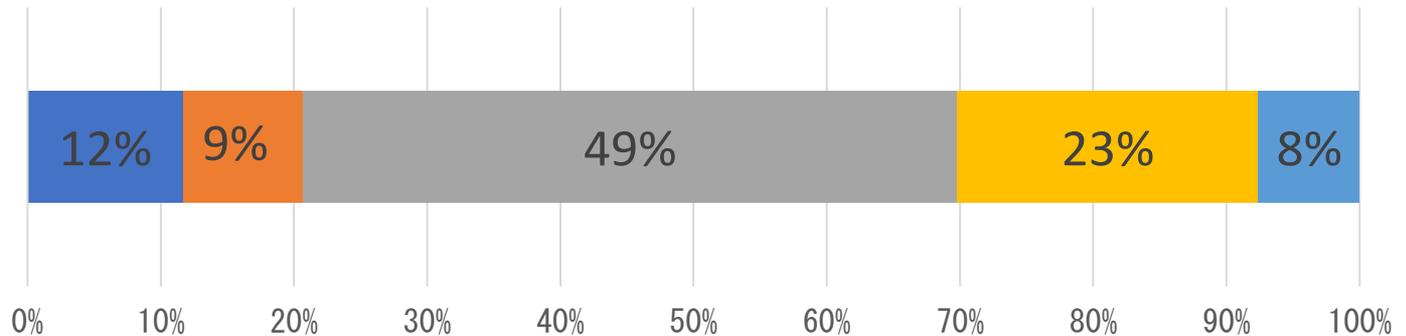
- そう思わない
- どちらともいえない
- そう思う
- どちらかといえばそう思わない
- どちらかといえばそう思う

# 働く中で成長できたと感じること

より地域や社会の問題について考えるようになった



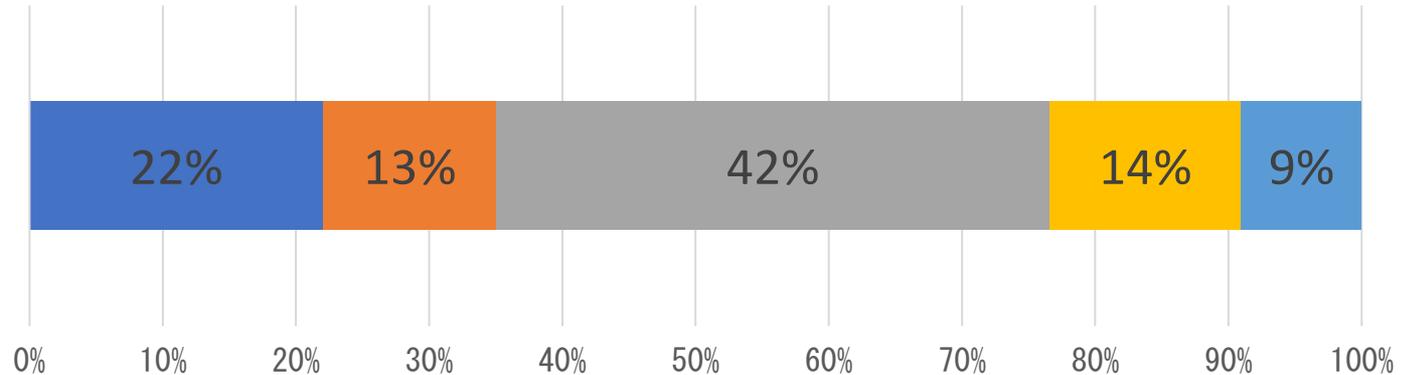
政治への関心が高まった



- そう思わない
- どちらかといえばそう思わない
- そう思う
- どちらかといえばそう思わない
- どちらかといえばそう思う

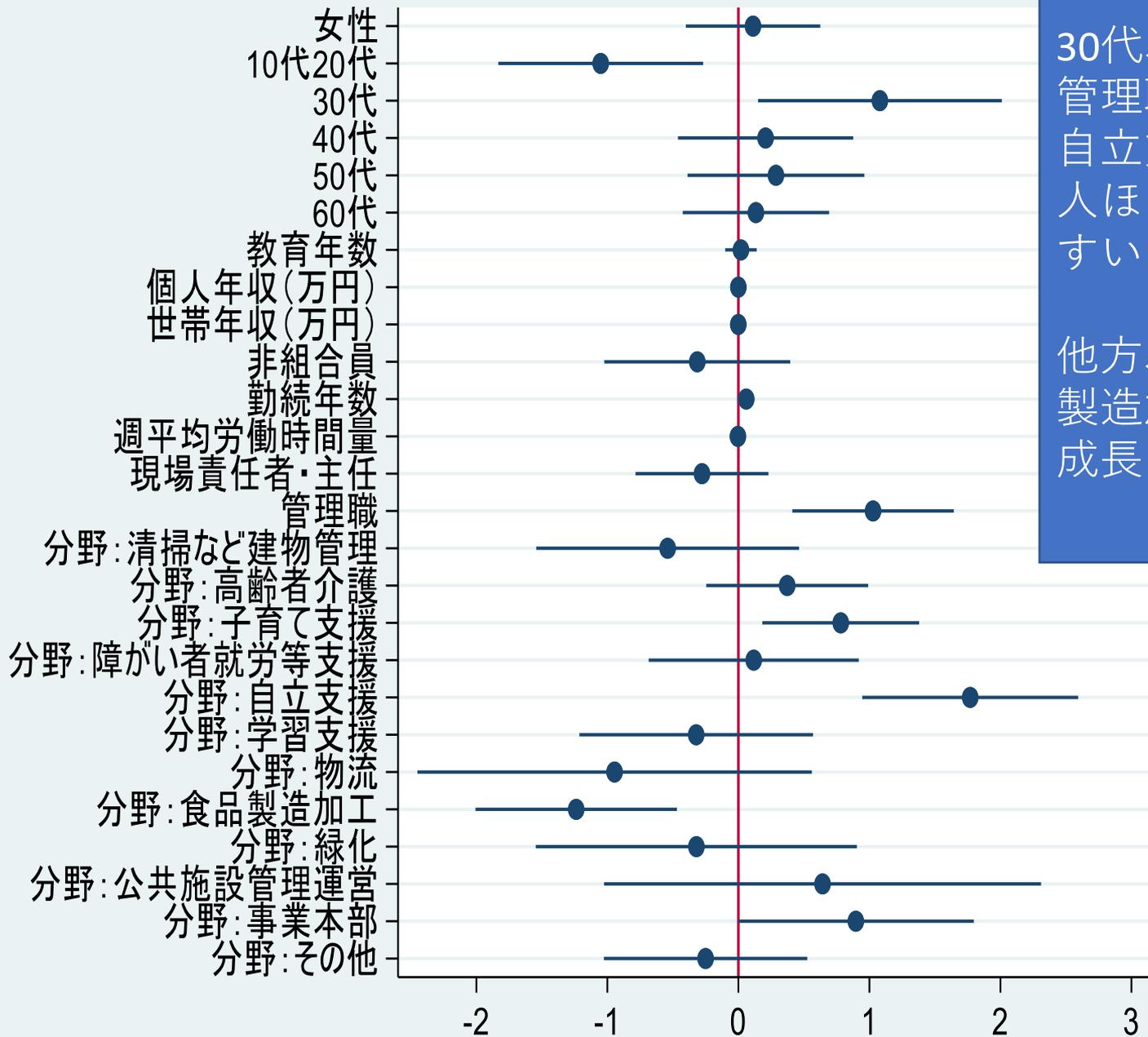
# 働く中で成長できたと感じること

市民活動や自治会活動に参加するようになった



- そう思わない
- どちらかといえばそう思わない
- どちらともいえない
- どちらかといえばそう思う
- そう思う

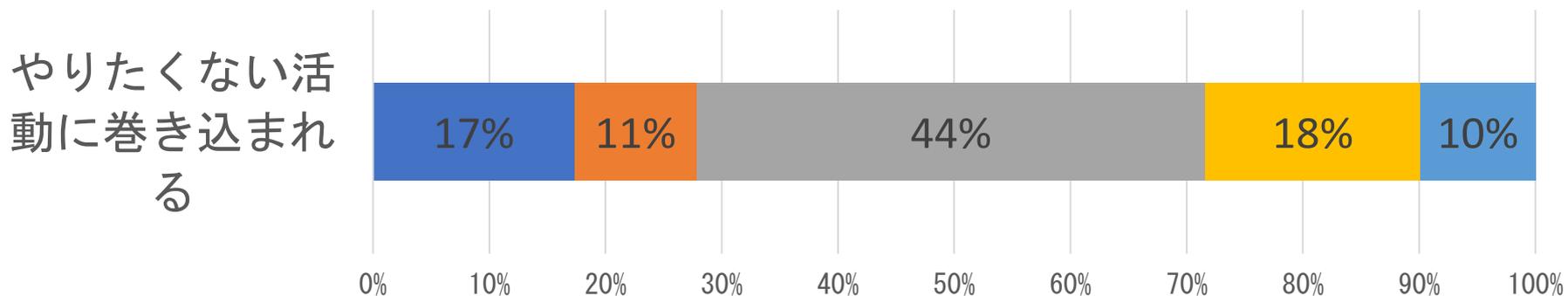
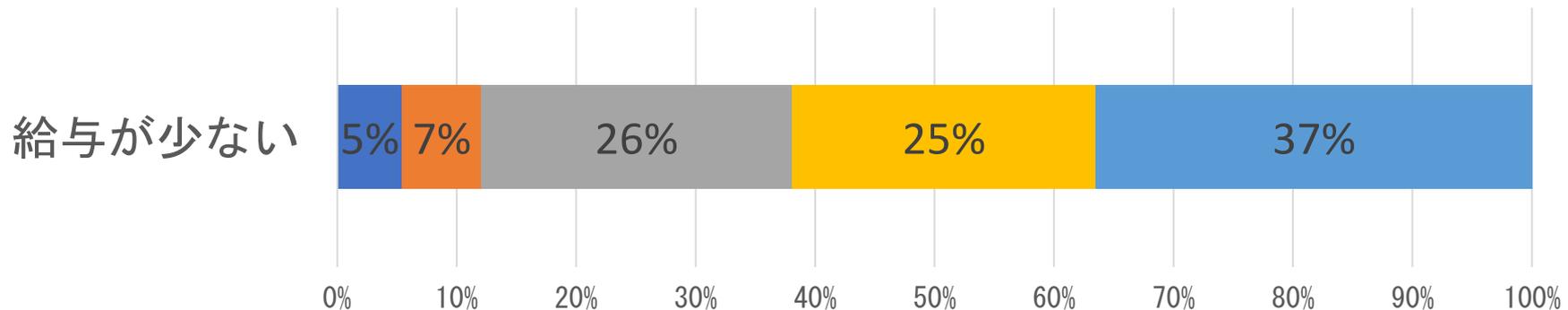
心理・態度 > 行動  
コミュニケーション、寛容 > 公共



30代、勤続年数が高い、  
管理職、子育て支援や  
自立支援の分野で働く  
人ほど、成長を感じやすい

他方、10代20代、食品  
製造加工で働く人は、  
成長を感じにくい

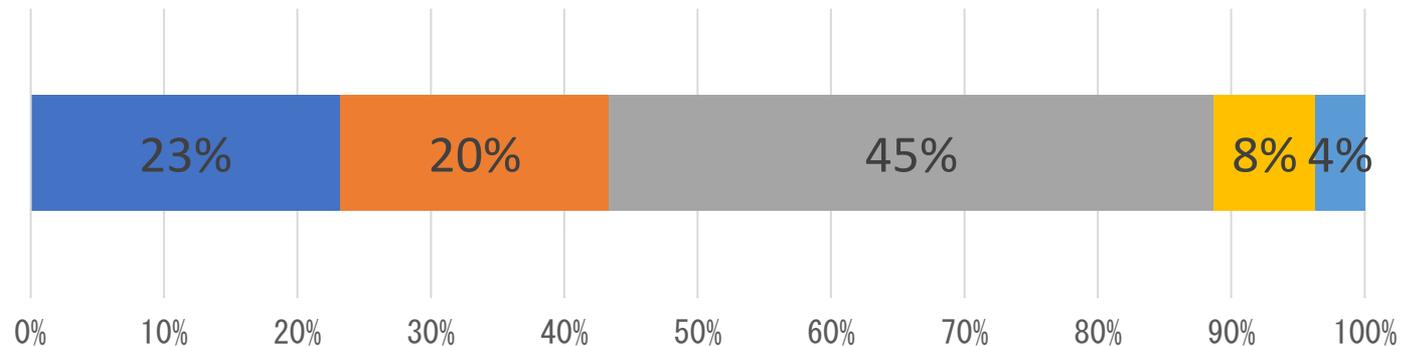
# 働く中で感じる職場の課題



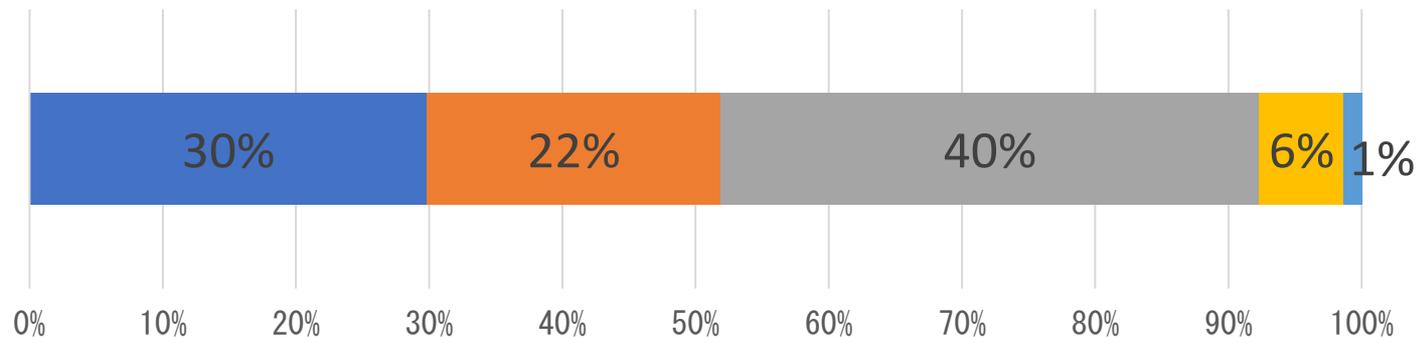
- そう思わない
- どちらかといえばそう思わない
- どちらともいえない
- どちらかといえばそう思う
- そう思う

# 働く中で感じる職場の課題

自分のやりたい  
事業や活動がで  
きない

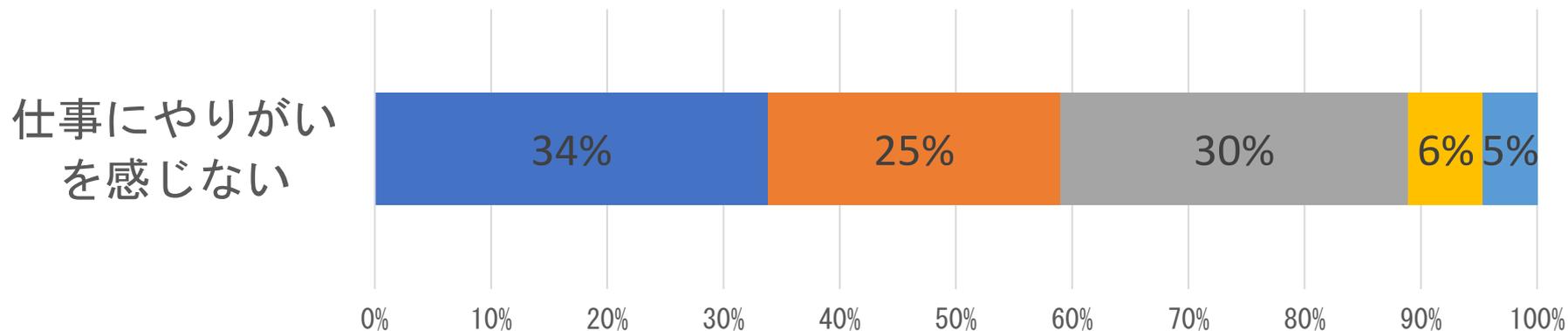


利用者や住民と  
一緒に活動する  
ことが負担であ  
る



- そう思わない
- どちらかといえばそう思わない
- どちらともいえない
- どちらかといえばそう思う
- そう思う

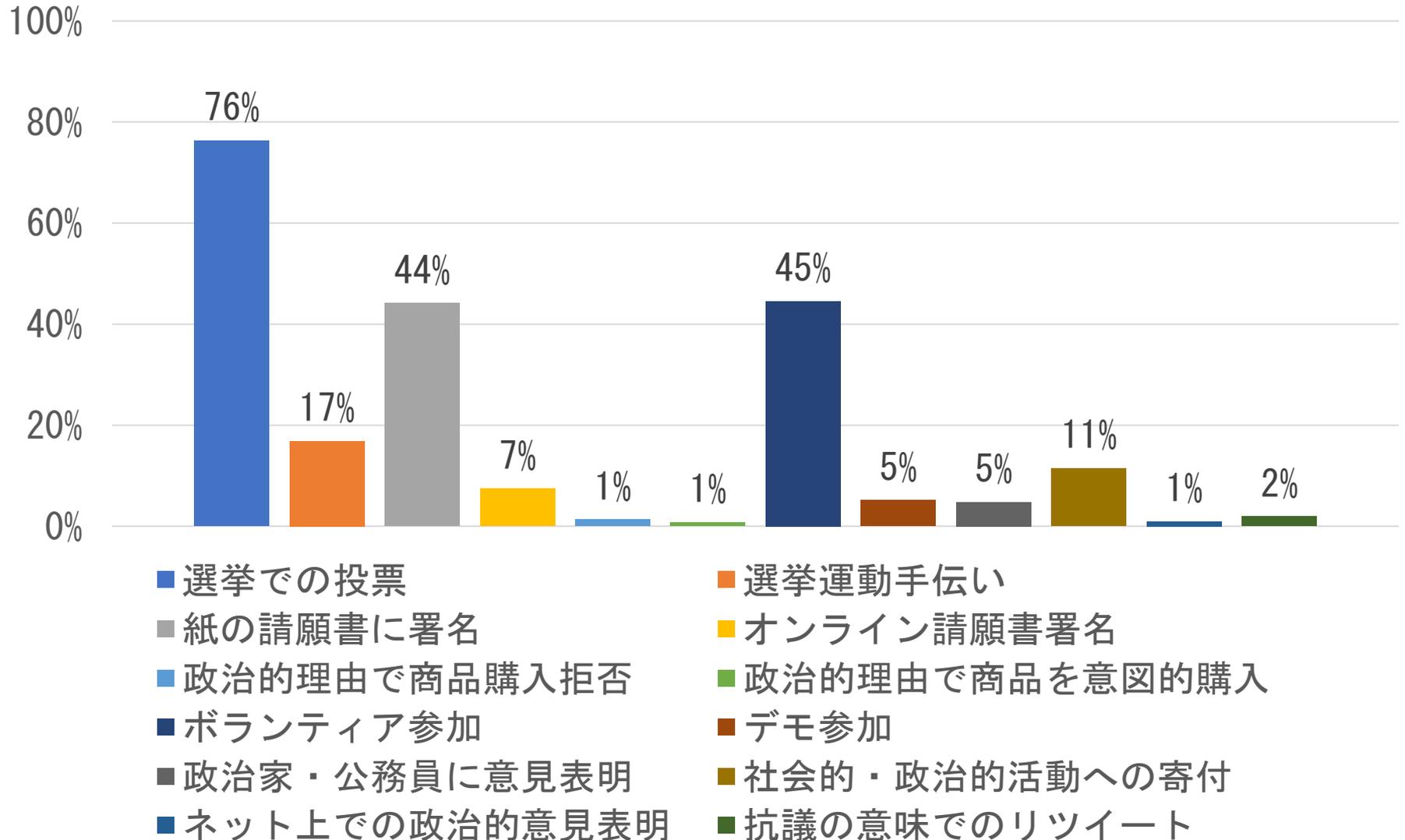
# 働く中で感じる職場の課題



- そう思わない
- どちらかといえばそう思わない
- どちらともいえない
- どちらかといえばそう思う
- そう思う

不満は給与面に集中

# 政治参加経験

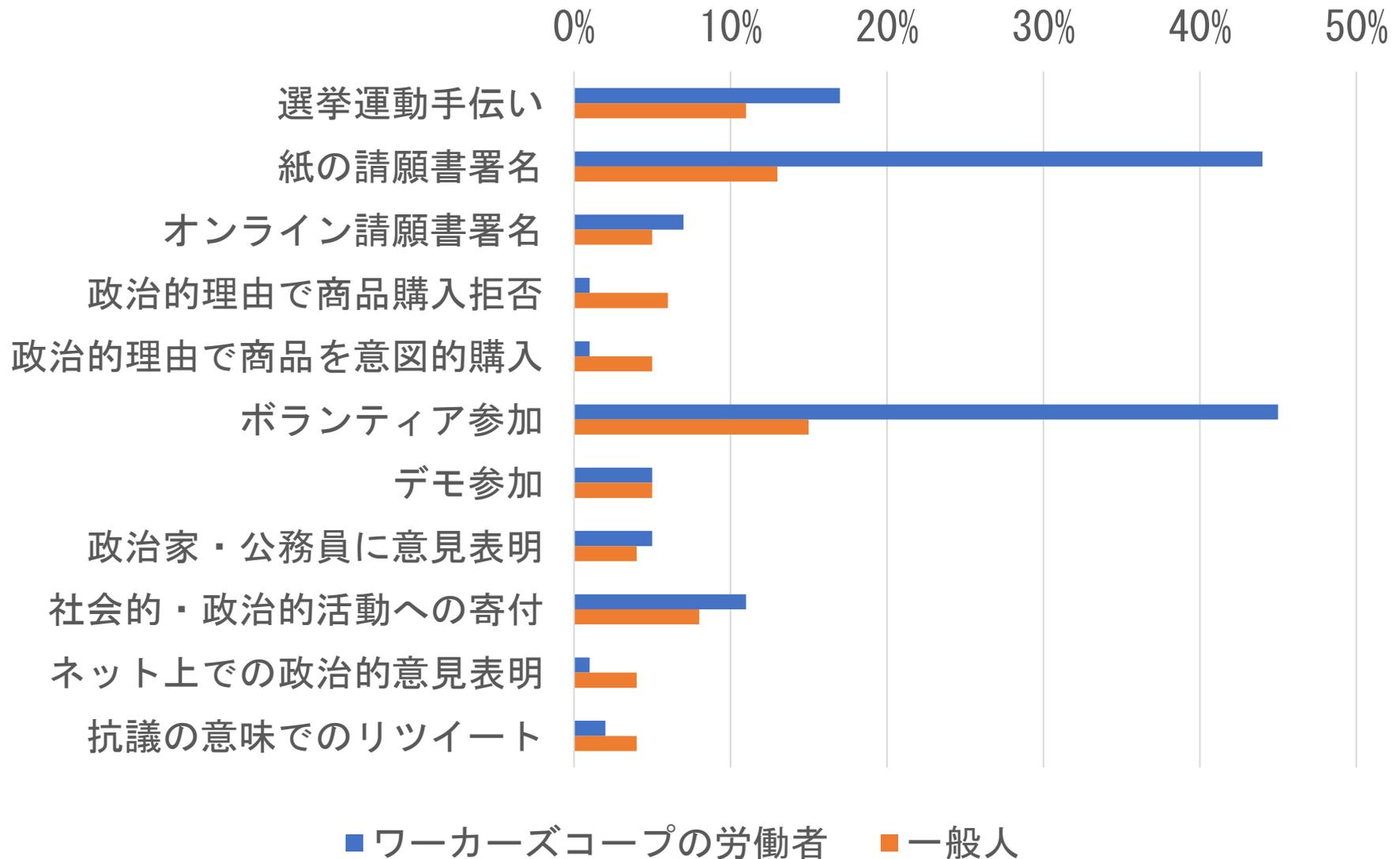


# 一般を対象サーベイとの比較

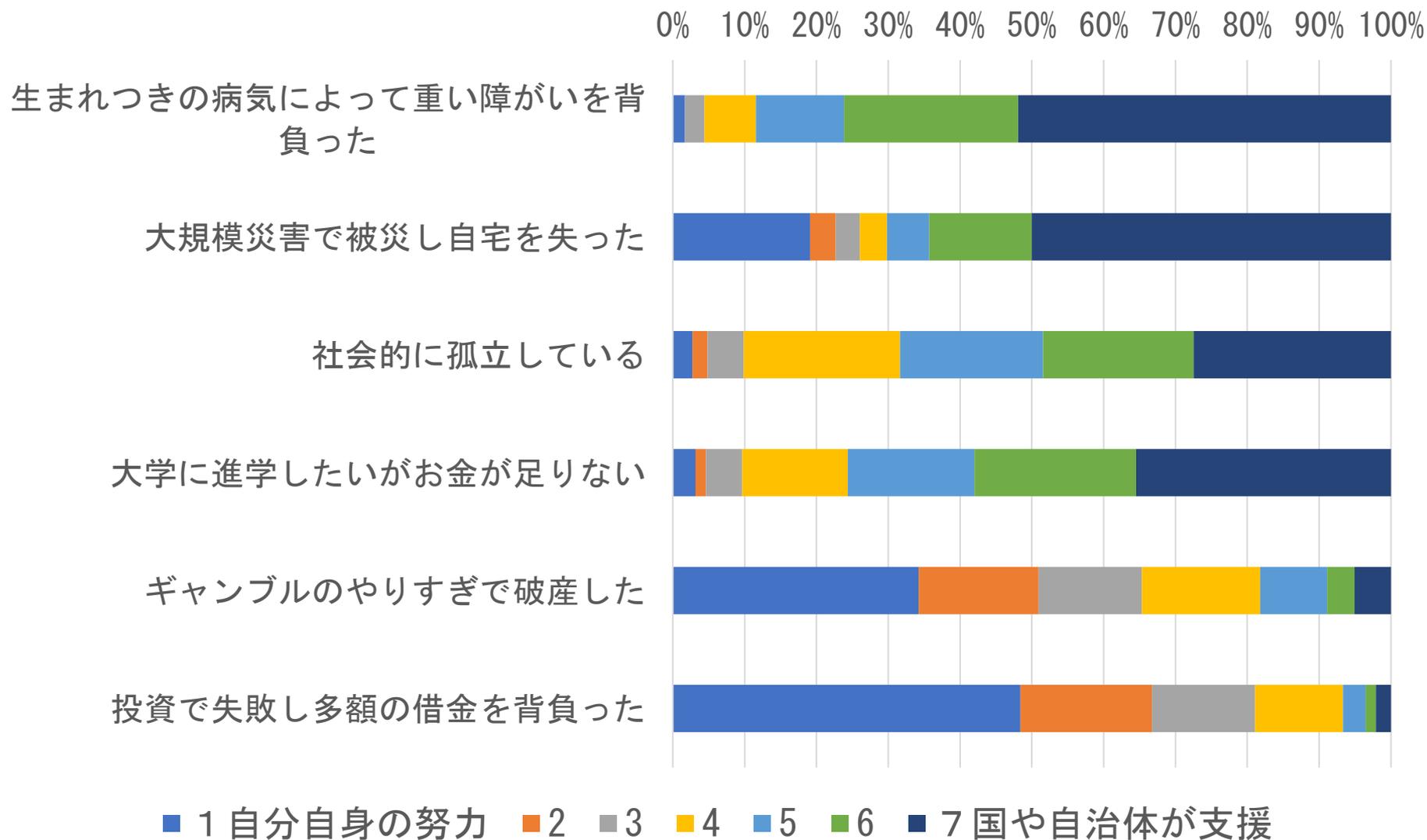
1. 「政治志向性と政治行動」研究会「政治についての市民意識調査」  
第一次調査、2022年7月、楽天インサイトの登録モニター対象のオンライン調査、年齢、性別、地域の分布が国勢調査の分布と近似するようにサンプルを割り付けたうえで回収、7000サンプル
2. 関西大学経済・政治研究所自助・共助研究班「日本の市民社会に関する意識調査」、2021年2月、楽天インサイトの登録モニター対象のオンライン調査、年齢、性別、地域の分布が国勢調査の分布と近似するようにサンプルを割り付けたうえで回収、2017サンプル
3. 関西大学経済・政治研究所自助・共助研究班「日本の市民社会に関する意識調査」、2020年3月、楽天インサイトの登録モニター対象のオンライン調査、年齢、性別、地域の分布が国勢調査の分布と近似するようにサンプルを割り付けたうえで回収、2123サンプル

# 一般人との比較

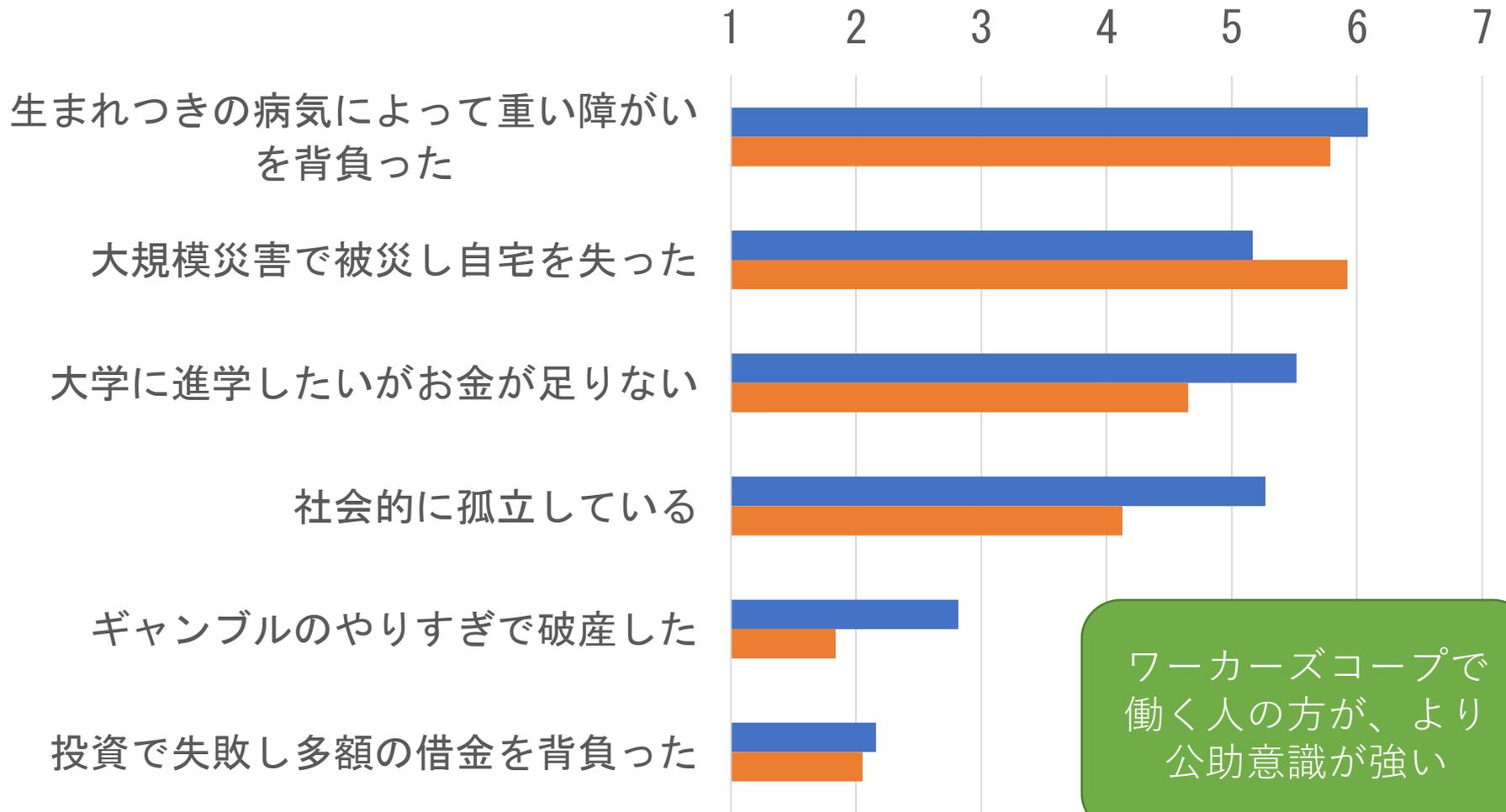
## (2022年7月サーベイ調査との比較)



# 自己責任（自助-公助）意識



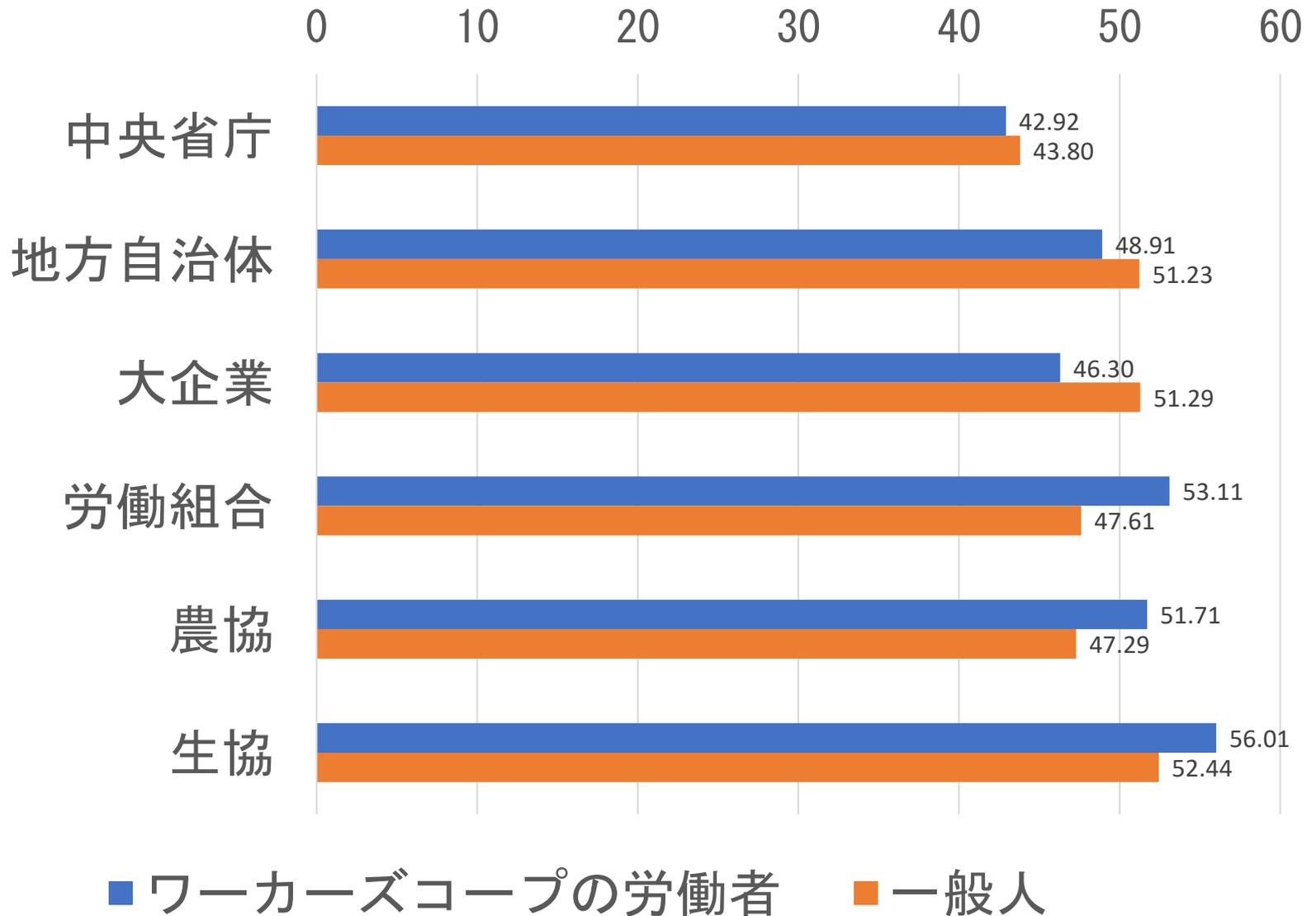
# 一般人との平均値の比較 (2021年2月サーベイ調査との比較)



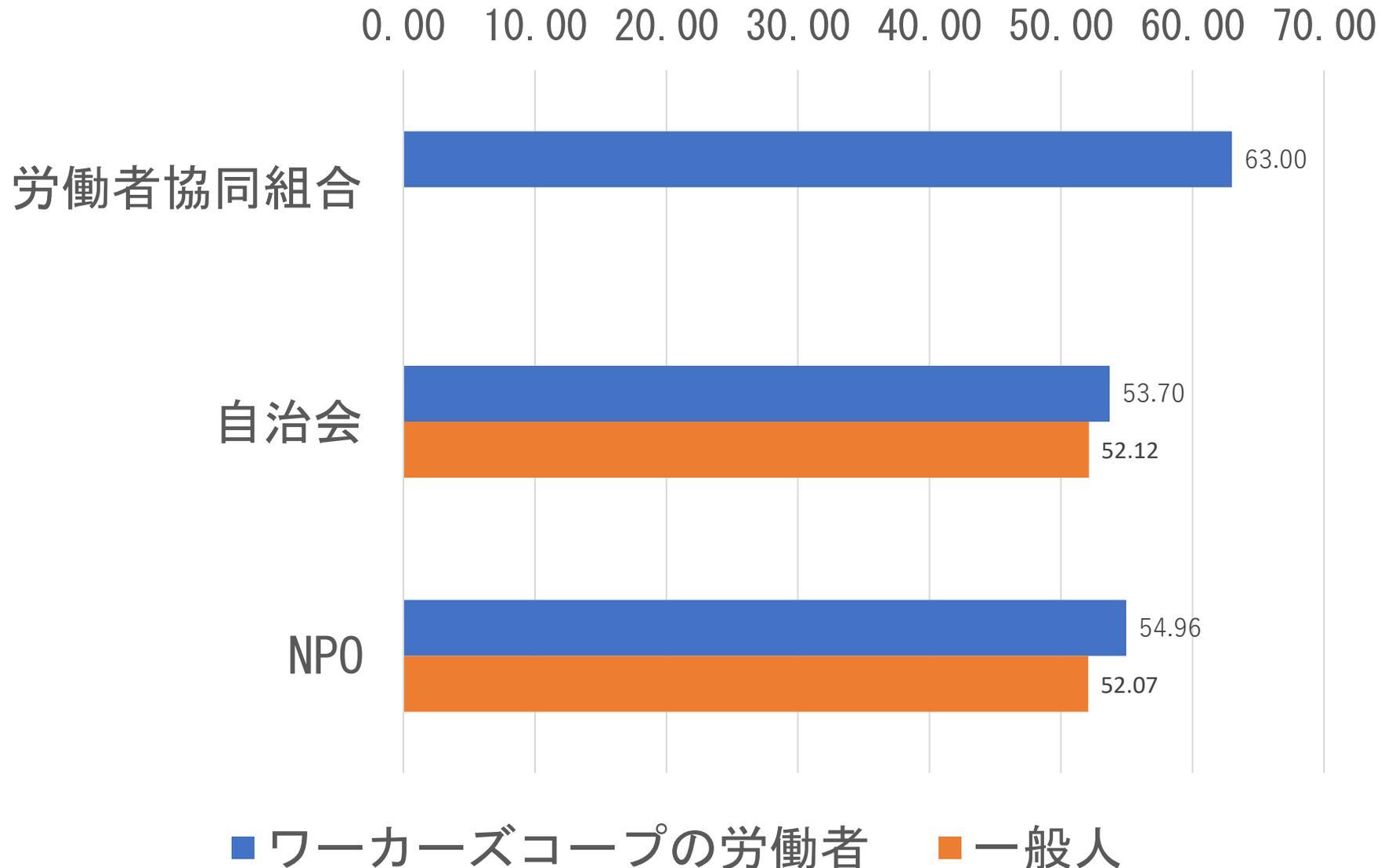
ワーカーズコープで働く人の方が、より公助意識が強い

■ ワーカーズコープの労働者 ■ 一般人

# 諸組織に対する感情温度 (2020年3月サーベイ調査との比較)



# 諸組織に対する感情温度 (2020年3月サーベイ調査との比較)



意識が高い人がより参加し  
ているだけ？

意識が高い人が組織に  
残っているだけ？

企業や他の市民社会組織  
との違いは？

協同労働に関わることで  
人々がどのようにエンパ  
ワメントされるのか、の  
より精緻な量的検証が  
必要